SAJ
サバーイ通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバーイは「幸福」を意味するクメール語です

Vol.15

2019.11 月号

2019.8 月 27 日～ 31 日

SAJ カンボジア 教育支援視察ツアー

アンコール遺跡にて事前勉強した内容を確認中

象に乗りました

留守番していた子たちへお菓子のお土産

8 月 27 日～ 31 日で SAJ カンボジア教育支援視察ツアーを開催。途中参加を含め 18 名の方にご参加いただきました。孤児院の高校生の修学旅行（シェムリアップにてアンコール遺跡群の観光）も同期間中に実施され、希望された方はシェムリアップ観光もされました。高校生たちは事前にアンコール遺跡について学習しており、ガイドさんからの説明を熱心に聞いてメモを取っていました。
今年はあいにくの天候で「夢追う子どもたちの家」ではスコールにも遭い、アンコールワットでの朝日鑑賞時は雨のため日の出を見ることができませんでしたが、遺跡観光中は傘をささずに過ごせたことが救いです。
首都プノンペンからポーサット州へ向かう国道が現在、道路拡張工事をしています。どんどん発展していくカンボジアの様子を一度ご覧いただけましたら幸いです。

皆様からの会費・寄附は「1 円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費	一般寄附	指定寄附（使い道を指定する寄附）
会員会費（年額）1 口　12,000 円 法人会費（年額）1 口 120,000 円	用途は指定しないで金額も自由な寄附	●学校建設寄附（1）一口寄附（一口 100,000 円）、（2）一棟寄附　●ふれあいサポートプラン（一口 12,000 円から） ●食の支援寄附（金額自由）　●孤児院運営寄附（金額自由）　●孤児院運営会費（12,000 円 / 月） ●孤児院里親会費（12,000 円 / 月）　●奨学金寄附（金額自由）　●学校運営寄附（バングラデシュ）（金額自由）

詳細は SAJ 事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告（指定寄附別）

支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします！

1

孤児院里親様支援

たくさんのお客様と里親様が来てくださいました。子どもたちとあたたかい交流していただき、贈り物もいただき、ありがとうございます。途中、激しい雨にも関わらず楽しく過ごす子どもたちの声が園内一杯に響く素敵な一日となりました。学年ごとの MTG では、一人一人に声をかけていただきました。今後も子どもたちが元気にたくましく賢く過ごせますよう、サポートよろしくお願い致します。（副園長　柚木）

宮森様と里子のタッ・ピセット

2

孤児院運営支援

農業実習

中学・高校生を 2 グループに分けて 10 人ずつ 5 日間の実習。今回は仕事をして給料をもらうことを体験しました。レモングラスの収穫、選別、カット、パック詰め、蒸留 / お米の苗取り、田植え / 肥料づくり / 石鹸づくりとほんとにたくさんの経験をさせていただきました。この経験が子どもたちの肥やしになりますように。（副園長　柚木）

3

学校建設寄附

贈呈式

8 月 28 日、株式会社エイト様のご支援によって建設されたプレアテッド幼稚園の贈呈式が、カンボジアコンポンチュナン州で行われました。贈呈式終了後は「夢追う子どもたちの家」にも来園され、子どもたちと交流もして頂きました。

4

学校運営支援【NDMSC】

バングラデシュ英語オリンピックに出場

初めてバングラデシュ全国で開催される英語オリンピックに出場しました。こちらは中学生、高校生対象に英語能力を競い合う大会です。本校から英語が得意な生徒を選抜し出場したのですが、全国から優秀な生徒が集まっているだけあり、出場選手のレベルが高く入賞することもできませんでした。彼らにとっては悔しい反面、大変良い刺激となりました。来年の英語オリンピックには、より英語力を身につけて帰ってくることを約束しました。（校長　古澤）

インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/

こちらから

会費・寄附金のお振込み

- 郵便局：00140-5-345903
- 三井住友銀行：蒲田支店（普）4353626　口座名：公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。
※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

SAJ は、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》
■代表理事：渡邉美樹
■理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮（新任）
■業務執行理事：青木茂雄
■評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫（新任）、大城慶正、白柳直美
■監事：片山進平、小田剛志

第 197 回理事評議員会が 9 月 24 日に行われました。

議案 1 ：SAJ ツアーの報告と今後のツアーの在り方

資料に基づき説明がなされる。ツアー代金を明確にすることを前提に承認をいただきました。

議案 2：孤児院の子どもを日本に連れて来る場合のルール

ルールの設定をする経緯の説明がなされる。里親様が里子を日本に呼ぶ場合は、SAJ事務局へ相談をすること。SAJ事務局は孤児院側と相談・確認し返答することに承認をいただきました。

議案 3 ：奨学金（日本語学校の費用＆就職者の生活費）のルール

奨学金の貸与について新たなニーズが発生している説明が資料に基づきなされる。奨学金貸与規定の改訂に承認をいただきました。

SAJ Farm

SAJ ファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場（農場）として、2010 年にスタートさせた就労支援事業です。

レモングラスのお土産品

SAJ ファームでは、現在レモングラスを使用したお土産品を商品化することに力を注いでいます。現在、プノンペン、シェムリアップのお土産店で販売している私たちの商品は、エッセンシャルオイルとレモングラスティーだけです。それだけではなかなか売れず、レモングラスの香りを活かした石鹸の商品化を進めています。カンボジアの外国人観光客も年間 600 万人を超え、年々増加傾向にあります。多くのお土産店は外国人観光客で賑わっており、石鹸は人気のお土産品の一つとなっています。そこで、一年以上前から、様々なトライを繰り返し、石鹸の商品開発を行ってきました。SAJ ツアーのお客様にも現地販売させていただき、多くのご意見をいただきました。来年の 1 月には、素敵でどこにも負けない SAJ 石鹸をカンボジアで販売したいと思っています。
将来は農場の横に石鹸工場を作り、近隣の村の多くの方々が笑顔で誇りを持って働いている姿を想像すると今からワクワクしています。どうぞ、これからも SAJFarm に暖かいご支援よろしくお願い致します。
（農場長 酒井）

SAJ 教育支援視察ツアーの参加者様に孤児院にて販売会

スタッフ紹介

「夢追う子どもたちの家」日本人職員 柚木智子（ゆのき ともこ）

今年の6月に「夢追う子どもたちの家」に着任して、4カ月が過ぎました。やっとの思いで子どもたちの名前を覚えることができました。こんな小さなことが、今の私には、大きな達成感です。
SAJの活動を知って、カンボジアツアーに参加してから約5年。ツアーで孤児院の子どもたちと触れ合いながら、ここで働く自分を想像してワクワクしたものの、まさか本当に来ることになるとは思ってもいませんでした。
ワタミでのたくさんの出逢いと、経験が、私をここに連れてきてくれました。
日々、文化の違いに驚かされ、言葉の壁にぶつかり、そして、暑さと闘いながら、楽しく暮らしています。子どもたちにクメール語を教わりながら、少しずつですが確実に前に進んでいることを実感しています。
これから私にできることは、SAJを支援してくださっている方々、そして、子どもたちの里親様に代わって、子どもたちの成長を見守り、子どもたちの気持ちに寄り添うことだと思っています。
子どもたちが孤児院を卒園して、自分の力で、しっかりと生きていく為の力を身につける手伝いを、微力ながら、させていただきたいと思っています。
これからも「夢追う子どもたちの家」を、SAJへのご支援を、どうぞ宜しくお願い致します。

代表理事メッセージ　オークンチュラーン

代表理事 渡邉美樹

SAJの孤児院は首都プノンペンから車で４時間かかるポーサット州にあり、州都から車で30分以上離れた田舎にあります。国道から未舗装の赤土の側道に入り、凸凹道で車の屋根に頭をぶつけながら進むと、左側に見えてくるオレンジ色の屋根の建物が孤児院です。
歩いて行ける距離にお店は一軒もなく、夜は暗闇に包まれます。熱帯気候のカンボジアにあってエアコンはなく、部屋の壁にはヤモリが鳴き、ベッドの下にはバッタやコオロギが住み着いています。
そんな環境で４年半、孤児院で働いてくれたのが日本人責任者の平江です。ワタミの介護でケアスタッフとして働いてくれていた彼女が孤児院に赴任したのは2015年5月。当初の任期は3年でしたが、後任がなかなか決まらない状況で、責任感を持って任期を何度も延長してくれました。
介護で働いていたからでしょう。彼女のマネジメントは“自然体の優しさ”が特長で、子どもたちや現地スタッフの誰とも衝突することなく、誰からも信用され、愛されていました。彼女が赴任して２年もすると、孤児院の雰囲気は明らかに変わりました。“施設”ではなく“本物の家庭”になったのです。
平江はこの10月から新たな挑戦をします。ワタミが新たに合弁で設立した会社で、日本での外国人労働者受入の事業に携わります。カンボジア人の心をつかんだ平江のことですから、様々な開発途上国から日本にきた外国人労働者の大きな支えになってくれることでしょう。
平江と、孤児院の後任である柚木（ゆのき）の活躍に期待しています。

退任のご挨拶　孤児院副園長 平江 芙美

SAJ の活動に惹かれてワタミに入社し、チャンスをいただき、始まったカンボジアでの勤務。
始めは、子どもたちの為に自分に出来る事は何かを考える日々でした。言葉の壁や、思い描いていた世界とかけ離れた現実にぶつかり、自分に何が出来るのだろうかと不安に感じることも多くありました。
しかし、起きている現実を理解し子どもたちや職員と向き合う中で、少しずつ自分がここに来た意味がわかるようになりました。
カンボジアで過ごした４年半は、私にとって宝物です。あの時勇気を持って、カンボジアに行きたいと声に出して良かったと心から思っています。
一緒に働く仲間や子どもたち、そしてたくさんの支援者の方に支えていただき、無事に任期を終了する事が出来ました。感謝しています。これからも、カンボジアから教えていただいたことを活かして、新しいことに挑戦していきたいと思います。
本当にありがとうございました。

（上）プノンペン国際空港見学時
（下）カンボジア人職員から誕生日ケーキのプレゼント

ご支援いただいた寄附

2019 年

10月の寄附金合計　4,702,680円

（内訳）	会員会費	1,673,600 円
	一般寄附	1,246,063 円
	指定寄附	1,783,017 円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収してくださった方（順不同、敬称略）　※法人名、団体名は 2019 年 4 月現在のものです。

●SFP ホールディングス株式会社
合計 70 店舗
●TEAM 横浜総合事務所
●郁文館文化祭ボランティア
●ワタミ株式会社
ワタミ手づくり厨房丹波センター
「ミライザカ」御殿場駅前店
「三代目 鳥メロ」広島西条駅前店
「坐・和民」銀座土橋店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

今後の予定

11 月 25 日
理事評議員会

これまでの実績

いただいた寄附金の累計額（2001 年度～ 2018 年度）	28 億 9,196 万 2,003 円
現在、SAJ の建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数（2019 年 3 月現在）	93,226 人
SAJ の建設した学校でお米を受け取った児童数の累計（2006 年度～ 2018 年度）	9,515 人
建設した学校の合計（2001 年度～ 2018 年度）	288 校
ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計（2003 年度～ 2018 年度）	13,427 人
SAJ の建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計（2006 年度～ 2018 年度）	108,385 人

編集後記

SAJ ツアー最中、「夢追う子どもたちの家」の高校生たちと一緒にアンコールワットへ行ってきました。3 年ぶりに訪れ、入場券売り場が新しくなっていることや、トイレが綺麗になっていたことに驚きました。カンボジアの仏日該当する日で観光客が少ない日でも、お土産を売り歩く子どもの姿もあり、将来的には子どもが働かずに済む国になって欲しいと思います。

発行 公益財団法人 School Aid Japan　編集 公益財団法人 School Aid Japan　デザイン ワタミ株式会社　制作部
vol15：2019.11 月号

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL：03-5737-2773
FAX：03-5737-2793
Eメール：sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp